

妊孕性温存の実際

～がん患者が抱える性・生殖の悩みへの取り組み～

【開催日時】 2026年2月27日(金)

17時15分～18時30分(受付:17時00分～)

【開催場所】 東病棟12階 多目的ホール

【参加申込】 不要



当日、職員証にて
受付いたします

【対象】 院内職員

- 【講演】
- 1) **がん患者の性の悩みに対する
AYA世代がん患者サポートチームの取り組み**
がん看護専門看護師 安達 美樹 看護師長
 - 2) **がん生殖医療相談の実際**
産科婦人科教室 助教 中村 美和 先生
 - 3) **国・地方自治体における
妊孕性温存のサポートについて**
不妊症看護認定看護師 本田 万里子 副看護部長

<問合せ先>

医療サービス課 がん医療連携担当

☎ 5993/7245

✉ iyks-ganrenkei@jimu.kumamoto-u.ac.jp

がん・生殖医療相談

がん・生殖医療相談とは・・・

若年がん患者さまに対し、妊孕性温存（精子や卵子受精卵の凍結など）およびがん治療後の妊孕性に関する相談を受け付けています

相談依頼方法

緊急性の有無に関わらず、診療科主治医から婦人科

がん生殖担当（PHS：79943）へ電話連絡 

していただきます。

電話連絡後、詳しい流れを説明いたします

 すでに患者さまに相談希望がある場合
希望日を3日程ほど聞き取りしたうえで
お電話いただくとスムーズです

お問い合わせ先

がん生殖担当

西川 胚培養士（産婦人科 PHS：79943）

電話がつながらない場合は婦人科外来（5670／5671）へ
おかけください